

区分	評価指標	H25実績	H26実績	H27実績	前年度比	図書館運営全体	
図書館運営	基本的サービス					自己評価	外部評価
	資料購入費:決算数値(千円)	13,893	18,293	21,808	1.19	・資料購入費の増加の原因は、平成26年度は坂井輪図書館リニューアルオープンによるもの、平成27年度は、地区図書室の資料費が含まれたため、3図書館の合計では、26年度と同じ水準になっている。 ・貸出点数や登録者数が微増となっているのは、坂井輪図書館が改修工事のため休館していた影響によるもの。 ※補足:入館者数 入館者数は、平成27年5月上旬から全館で記録できるようになった。平成27年度実績には、一部の図書館の4月分がカウントされていない。また、地区図書室では入館者数を把握できない。	・休館期間等の関係で前年度との比較は難しい面もあるが、リニューアルによる一定の効果もあったと思われる。 ・周辺に分館レベルでの資料費を増やしてもらいたい。蔵書の充実が図書館の生命線だと思います。 ・財政状態が厳しい中で、蔵書等の充実は高く評価できる。新規登録者を増やす方法について、他の自治体の例などを参考にして、いろいろと試してほしい。 ・坂井輪図書館では、特に蔵書点数を年々順調なペースで増やしてほしい。また、貸出点数が伸びるような本の紹介POPなどの取り組みは継続してほしい。現状では棚にスペースが多くあるので、面出しの陳列を多用し、より本手に取りやすいようにしてはどうかと考える。
	蔵書点数(点):図書・AV	169,946	174,476	179,815	1.03		
	個人の貸出点数(点):雑誌・AV含む	634,547	652,358	726,961	1.11		
	個人の登録者数(人)	18,474	19,015	19,261	1.01		
	(内新規登録者数)	2,346	2,546	2,368	0.93		
	入館者数(人)	後期 新規	-	-	466,534		

区分	評価指標	H25実績	H26実績	H27目標	H27実績	自己評点	H28目標	評価(次年度への展開)			
ネットワークを生かした「課題解決型図書館」	ネットワークを生かした「課題解決型図書館」							自己評価	外部評価		
	レファレンス件数(件) ※資料の所蔵調査を含む	7,029	6,958	7,044	16,565	3	16,700	・平成27年度にレファレンス件数が増加したのは、所蔵調査をカウントする基準を見直したことによる。 ・個人の予約件数は、特に内野図書館での減少が目立った。坂井輪図書館休館の影響が大きい。	・図書館の基本的な機能として、さらに充実を図ってほしい。 ・レファレンスの実際の活用事例の紹介を積極的に行ってほしい。坂井輪図書館では、2階にレファレンス利用の掲示がもっと目につくようなところにあればいいと思う。 ・レファレンスは利用すると良さがわかる。利用者から感想や意見をもらい、来館者にPRすると今後の利用増へつながるのではないかと。 ・基準の見直しというものの、件数大幅アップは大きく評価される。 ・第一印象がよくなった。		
	個人予約件数(件)	120,230	117,964	143,000	140,162	2	143,000				
	ビジネス支援サービス相談受付件数(件)	-	-	-	-	-	-				
	特色ある地域づくりに寄与する「分権型図書館」	郷土・行政資料の蔵書冊数(冊)	8,017	8,906	9,210	9,587	3	9,690	・郷土・行政資料は、計画通り蔵書を増やすことができた。貸出冊数については、全体の貸出冊数が減少していることと同様に、達成することができなかった。 ・公民館等との連携事業については、リニューアル1周年記念事業や、タブレット講座等を行い、7件の実績が得られた。	・郷土行政資料は、収集保存することが第一と考える。 ・資料の蔵書冊数は年度目標値を超えており、このペースで積極的に資料収集、地域からの発掘に取り組んでほしい。 ・学校、企業、個人との連携を増やし、資料の発掘に務めてほしい。	
		郷土・行政資料の貸出冊数(冊)	6,897	6,790	8,140	7,454	2	7,500			
		職員の派遣人数(延人数) ※子ども読書推進以外の派遣	後期 新規	-	-	-	0	-			1
		公民館等との連携・協力事業数(件) ※子ども読書推進以外の事業	後期 新規	-	-	-	7	-			4
	子どもの読書活動を推進する「学・社・民融合型図書館」	子どもの読書活動を推進する「学・社・民融合型図書館」							自己評価	外部評価	
		児童書の貸出冊数(冊)	152,951	163,624	199,000	191,071	2	192,000	・全体の貸出冊数の減少により、児童書についても同様の結果となった。 ・子ども・親子対象事業の参加者数が増加したのは、参加型イベントを実施したためである。	・様々な取組を行っているので良い。 ・坂井輪図書館では、特に子どもや親子がリラックスして伸び伸び使える空間になっていると思う。今後も利用しやすいやさしさが伝わるように親しみやすい印象の広報、参加型イベントの開催を継続して行ってほしい。 ・地域のお祭り、イベントに図書館という今までにない発想でよいと思います。	
小・中・高等学校への団体貸出冊数(冊)		後期 新規	-	-	-	3,136	-	3,200			
子ども・親子対象事業の参加者数(延人数)		853	1,145	1,155	3,772	3	3,800				
職場体験受入人数(人)		14	9	9	10	3	9				
職員の派遣人数(延人数) ※子ども読書推進に関わる派遣		後期 変更	-	-	-	19	-	19			
公民館等との連携・協力事業数(件) ※子ども読書推進に関わる事業	後期 新規	-	-	-	2	-	1				
市民参画と協働を推進する「パートナーシップ型図書館」	市民参画と協働を推進する「パートナーシップ型図書館」							自己評価	外部評価		
	図書館ボランティア活動者数(延人数)	645	779	860	1,099	3	1,100	・図書館ボランティア活動者数は、主に坂井輪図書館の配架・書架整理や雑誌配布のためのボランティアが増加したため、気軽にできるボランティア活動として定着してきた。	・着実に地域との連携が図られている。 ・ボランティア参加者の声を広報に掲載し、楽しさを伝えながら、さらに参加者を募ってほしい。 ・ボランティアの定着が確立後は、高校や大学と連携して、司書を目指す人の育成にも活用してほしい。 ・ボランティア延べ人数が目標を大きく上回っており、「パートナーシップ型図書館」の趣旨に沿うものであり、大きく評価できる。 ・本を借りるだけでなく、お手伝いもできるということは、もっと身近なことだと思う。		
	ボランティア団体交流会参加者数(延人数)	-	-	-	-	-	-				
	利用者の意見を把握する機会の設定(回)	3	3	5	5	2	5				
共催・協働事業の実施件数(件)	後期 変更	-	-	-	31	-	30				
効率的・効果的な運営(職員)	効率的・効果的な運営(職員)							自己評価	外部評価		
	研修参加職員数(延人数)	50	82	67	136	3	136	・ブックトーク(本の紹介)や絵本の選び方等の西区独自の研修を行った。この研修により、小学校の文化祭や読書旬間中のイベント、子育て支援センターでの絵本講座などに、自信をもって職員を派遣することができた。	・図書館職員の技能向上とモチベーション維持のために、本人の望む研修にはなるべく参加しやすいようにしてほしい。 ・西区独自の研修は、特色を出す上でとても良いと思う。研修によるスキルアップの結果がイベントや講座にどのように発掘されたか成果を共有しさらなるスキルアップを図ってほしい。 ・目標67に対しての136の実績は、大きな成果として評価できる。		